



# ほけんだより

令和 5 年 7 月 虹のこころ保育園



暑い日差しの季節がやってきました。梅雨明け後は暑い日が続くので、熱中症に注意しましょう。保育園でも日陰での休憩や水分補給をこまめにしながら、夏の遊びを楽しみ、暑さに負けない身体づくりをしていきたいと思ひます。



## 気を付けよう！夏に流行する感染症



保育園では、6月にヘルパンギーナが流行し、発熱などの体調不良で欠席・早退する子どもが多い1か月となりました。

ここで、夏に流行しやすいと言われている代表的な感染症を4つご紹介します。下記のような症状が見られたら、早めの受診をお願いします。



### 咽頭結膜熱(プール熱)

- ・5~7日続く発熱
- ・咽頭炎によるのどの痛み
- ・結膜炎の症状(目やに、充血、目の痛み)

### ヘルパンギーナ

- ・発熱に続くのどの粘膜の赤み、水疱
- ☺乳児はミルクが飲めない程喉が痛むことも。



### 手足口病

- ・手のひらや指の間、足の裏、口の中、膝、おしりなどに小さな発疹や水疱ができる。
- ・3人に1人は発熱するが、あまり高熱にならないことが多い。



### 伝染性膿痂疹(とびひ)

すり傷や虫刺され、あせも、湿疹などをかきむしってふまわり、そこに出来たかさ傷にばい菌が入り、水ぶくれやじゅくじゅくした状態(膿痂疹)になることで起こります。

とびひの水ぶくれやじゅくじゅくした部分には、ばい菌が入っています。この液が、他の皮膚の傷がついた部分に触れると、新しい水疱や膿痂疹ができます。患部をかいた手で他の場所に触れたりすると、同じような水疱があっという間に全身に広がります。同じように他の人にも感染しますので注意が必要です。

☆患部を覆うことができれば登園可能ですが、登園届が必要です。☆

元気になり登園する時には、咽頭結膜熱(プール熱)は、医師記入の登園許可証明書、ヘルパンギーナ・手足口病・伝染性膿痂疹(とびひ)は、保護者記入の登園届が必要となります。当園HPからダウンロードできますので、必ず登園時に提出して下さいますようお願いいたします。



## 歯科検診を実施しました!



6月22日に、全園児対象に、歯科検診が行われました。子どもたちは、上手に口を開けて検診を受けることができました。検診結果に関わらず、子どもの歯の健康のためにも、定期的に歯科受診をしましょう。



### 乳歯が虫歯になるとどうなるの?



乳歯が虫歯になると、痛みのせいで食べ物がしっかり噛めなくなります。よく噛めないと、唾液が十分に分泌されず、栄養の吸収が悪くなります。噛むと痛みが生じるため、硬いものを嫌うようになり、偏食の原因にもなります。

食べ物をしっかり噛めないことで、永久歯の歯並びにも影響してきます。きちんと噛めないと「あご」が発達せず、永久歯の並びスペースがなくなってしまうます。乳歯がむし歯によって早く抜けると、永久歯は目標を失って、正しい位置に生えてこられません。

乳歯を健康に保つことは、永久歯だけでなく、子どもの心身の成長のためにも、とても重要です。



### 虫歯になりやすい歯はどこ?



3歳までの子どもは上の前歯が虫歯になりやすく、とくに歯と歯の間や歯のつけ根に注意が必要です。

3歳をすぎたら、奥歯のみぞや奥歯と奥歯の間に注意しましょう。そして、5~6歳ごろには、初めての永久歯「六歳臼歯」が生えてくるので、見逃さないようにチェックして、より丁寧なケアを心がけてください。

## 7月のほけん行事



- 3日 頭髪検査
- 10日 身体測定(よつば組)
- 12日 身体測定(ゆり組・ちゅうりっぷ組)
- 18日 頭髪検査
- 19日 身体測定(あじさい組・よつば組)
- 20日 身体測定(すみれ組)

